

次世代育成支援・子育て支援センター

森のおたより



平成17年10月号

まだまだ暑い日が続いています。夏休みはどのようにお過ごしでしたか？ 里帰りや旅行などの楽しかったお話を聞くことを楽しみに来園をお待ちしています。

9月1日は防災の日。ご家庭でもいつでも防災に対処できるよう、身の回りの点検や非常用持ち出し物の確認をしてみてくださいね。

また、9月18日は中秋の名月。ススキや秋の草花を花びんにさし、クリヤカキ、サソマイモをかごに盛って飾り昔からの習慣を子どもたちにも伝えていきたいですね。

スケジュール予定

月	火	水	木	金
3	4	5	6	7
0.1歳児 自由遊び	全年齢児 自由遊び	全年齢児 運動会ごっこ	全年齢児 自由遊び 水遊び	2.3歳児 自由遊び 水遊び
10	11	12	13	14
体育の日にて お休み	全年齢児 自由遊び	全年齢児 親子リズム	全年齢児 自由遊び	2.3歳児 自由遊び
17	18	19	20	21
0.1歳児 自由遊び	全年齢児 自由遊び	全年齢児 保健衛生	全年齢児 自由遊び	2.3歳児 自由遊び
24	25	26	27	28
0.1歳児 自由遊び	全年齢児 自由遊び	全年齢児 ガーデニング 教室	全年齢児 自由遊び	2.3歳児 自由遊び
31				
0.1歳児 自由遊び				

※年齢別になってはいますが、希望により曜日・年齢に関係なくいつでもご参加ください。来園の際は、支援センターで受付を行い、室内や園庭で自由に遊んでいただけます。



十月の活動より

5日(水)運動会ごっこ

わんぱくランド(芝生広場)で裸足になり、親子で楽しく元気にダンスをしませんか？沢山の曲を用意しておきますので、子どもと一緒に体を動かしながら汗を流しましょう。雨天の場合は、支援センターで行う予定です。

12日(水)親子リズム体操

園児たちのおしりちゃん・おばあちゃんが遊びに来てくれる日です。色々な遊びのコーナーを設けて、昔の遊びを教えて頂いたり、一緒に遊んだりとお年寄りの方とのふれあいデーです。「ふれあいの森」の参加の方もぜひ、一緒に参加して沢山の遊びを経験して行ってください。

19日(水)保健衛生勉強会

カラーコーディネーターの先生に一人ひとりの肌の色に合わせ、その人に似合う“色”を教えます。支援センターで子どもを遊ばせながら、順番で自分のカラーを知ってみませんか？自分に似合う色を知ることによって、子育て中のファッションも楽しめると思います。お友達をお誘いの上、是非お出かけ下さい。

26日(水)ガーデニング教室

カラーコーディネーターの先生に一人ひとりの肌の色に合わせ、その人に似合う

食育試食会はいかが？

沢山の方からのご要望がありました。給食の試食がよいは実施されることになりました。園児たちが食べているおいしい給食を是非、ご賞味下さい。

日時：平成17年11月2日(水) 午前11時頃
持ち物：親と子ども用のお箸セット、必要な食器(スプーンやフォークなどもあれば便利です)

参加費：一組200円(一部負担をお願いします)

募集人数：先着20名組の親子

駐車場：第三駐車場(動物ランド南側)



ご希望の方は、下記の申し込み書にご記入の上、参加費と一緒に「ふれあいの森」にご来園の際に提出してください。当日も園児の調理を行っているため、人数を限らせていただきますが、今回参加できなかった方は、次回の試食会を楽しみにしてくださいね。

参加して頂いた方には、アンケートのご協力をお願い致します。



「断乳」と「卒乳」って知っていますか？

いわゆる乳離れのことですが、ふたつの言葉は微妙に違います。「断乳」は乳を断つ、またおっぱいを欲しがる子どもに無理やりあきらめさせるこ

とで、「卒乳」は乳を卒業する、子どもが納得の上でおっぱいをやめることです。昔は、乳離れを早くしなくては、と早いうちでの断乳が主だったようですが、今は卒乳という考え方をするお母さんも多いようです。

おっぱいには“何歳までこやめなくてはいい”という期限はありません。脳や心が大きく成長する時期に、ママからおいしいおっぱいをもらい、スキンシップをして、思う存分甘えておくことが、精神的な安定を促すのです。周りの目などに気にせず、親子納得いくまで授乳を続けてください。

早期教育は必要？

幼児教育にはしつけが大切

ノーベル賞受賞学者 小柴昌俊さん



子どものころ、親には「勉強しなさい」と言われたことはありませんでした。放課後はメンコやベーゴマで遊びました。

旧制中学の時は時には、小児まひにかかり入院。旧制一高時代は、家庭教師や米軍の荷揚げ作業の手伝いなどをして家計を支えなければならず、学校にも毎日通えなかった。成績もふるわなかった。

大学入試を控えたある日、寮の風呂に入っていると、湯気が立つなか、「小柴は物理ができないから物理学科には行かないだろう」と教師の話声が聞こえました。悔しかったので、猛勉強して東大に合格しました。

少子化が進む中、「お受験」や習い事など、早期教育に躍りこむ親が多いようですが、幼児の頃は、まずはしつけが大切だと思う。悪さをしたら、お尻をたたくなど、善悪を覚えさせることも時には必要です。

小学校後半から中学にかけて記憶力がすごく良くなるので、外国語や数学はその時期にどんどん知識を吸収したい。

私が2人の子どもを育てた時、「勉強しろ」とは言いませんでした。心がけたのは、できるだけ一緒に夕食を食べることでした。

「朝日新聞」記事より



子育て支援センター(おおぞら保育園 二階)
「ふれあいの森」
 群馬県勢多郡新里村関548-4
 TEL 0277-74-0334
 0277-74-6656
 FAX 0277-74-6685
 担当者 小林真理子、井口由美